

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公表番号】特表 2006-500623 (P2006-500623A)

【公表日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2006-001

【出願番号】特願 2004-537968 (P2004-537968)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/62 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

H 0 4 N 5/72 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/62

G 0 2 F 1/1335

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

H 0 4 N 5/72 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力表面に入射し、出力表面から観察ゾーンへ射出する、情報が符号化された光の発散を大きくするための、高周辺光阻止率および低逆反射率を有するビューイングスクリーンであって、

規則的な幾何学対象が実質的に欠如している材料からなる拡散板であって、前記規則的な幾何学対象が (i) 前記拡散板中に分布し、かつ、前記情報が符号化された光の波長より大きい平均サイズを有し、(ii) 前記観察ゾーンの少なくとも一部に向かって開いた幾何学的凹所を有する拡散板を備え、

前記拡散板が前記観察ゾーン全体に渡って少なくとも 2 : 1 の偏光維持弁別比を示し、(i) 少なくとも 1 つの吸収手段と、(ii) その出力表面に実質的に非拡散無反射手段とをさらに備えたビューイングスクリーン。

【請求項 2】

情報が符号化された光の発散を大きくするための低散乱偏光維持多層ビューイングスクリーンであって、

情報が符号化された光の発散を大きくし、かつ、情報が符号化された光が通過する際のその偏光センス A を、観察ゾーン内における少なくとも 2 : 1 の弁別で維持するための基板 D と、

前記 D の一方の面もしくは両面の、偏光状態 A を通過させるべく整列した吸収偏光子と、

前記ビューイングスクリーン内で内部全反射する前方散乱および / または後方散乱の偏光状態を A とは逆の状態に修正するための、前記偏光子と、前記情報が符号化された光が通過する前記ビューイングスクリーンの最も外側の表面との間の任意の位置に配置された偏光状態位相シフト層とを備えたビューイングスクリーン。